

新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠  
[2022年度随時募集] 助成申請書

申請日 2022年7月29日

一般財団法人日本民間公益活動連携機構 殿

申請団体の住所 東京都大田区大森北二丁目3番15号  
申請団体の名称 公益社団法人日本サードセクター経営者  
代表者の氏名 田島 誠一  
法人番号 8011005003327

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成28年法律第101号）に基づき資金分配団体として助成を受けたく、下記のとおり申請をします。

なお、この誓約に反したことにより、選定の取り消し等が行われることとなっても、異議は一切申し立てません。また、下記4に記載した誓約書等の内容については、相違ないことを申し添えます。

記

- 申請団体の名称： 公益社団法人日本サードセクター経営者協会
- 申請団体の住所： 東京都大田区大森北二丁目3番15号
- 資金分配団体としての 東京都大田区大森北二丁目3番15号  
業務を行う事務所の所在地： 愛知県名古屋市中区平安一丁目9番22号
- 申請団体が申請に際して確認した別紙（次の（1）～（3））の事項等  
（1）欠格事由について  
（2）公正な事業実施について  
（3）情報公開について（情報公開同意書）
- 当団体が行政機関から受けた指導、命令等に対する措置の状況は次のとおりである。

指導等の年月日	指導等の内容	団体における措置状況
該当なし	該当なし	該当なし

※記入上の注意点

- 印については、「代表者の印」として印鑑登録済の印を押印してください。
- 法人番号については、国税庁から指定・通知される13桁の法人番号を記載してください。
- 住所及び事務所の所在地については、登記のとおり記載してください。また、住所は、主たる事務所の所在地を記載し、従たる事務所がある場合、当該事務所においても資金分配団体としての業務を行うときは、当該事務所の所在地も記載してください。
- 上記5については、記入が必要な欄がありますので、内容をご確認の上ご記入ください。なお、該当がない場合にも、「該当なし」と記載して頂く必要があります。

## 様式1

(別紙)

### (1) 欠格事由について

当団体は、次の1から4のいずれにも該当しないことを確認し、将来においても該当しないことを誓約します。

1. 「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成28年法律第101号）」（以下「法」という。）第17条第3項に掲げる団体で、次のいずれかに該当するもの
  - (1) 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする団体
  - (2) 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とする団体
  - (3) 特定の公職（公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職をいう。以下この号において同じ。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする団体
  - (4) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。（5）において同じ。）
  - (5) 暴力団又はその構成員（暴力団の構成団体の構成員を含む。以下同じ。）若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制の下にある団体
2. 暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する反社会的団体
3. 指定活用団体の指定、資金分配団体の選定若しくは実行団体の選定を取り消され、その取り消しの日から3年を経過しない団体、又は他の助成制度においてこれに準ずる措置を受け、当該措置の日から3年を経過しない団体
4. 役員のうち次のいずれかに該当する者がいる団体
  - (1) 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しない者
  - (2) この法律の規定により罰金の刑に処され、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しない者

#### ※注意点

上記事項を団体において確認した際の根拠資料（例えば、理事等からの提出を受けた誓約書等）がある場合は、当該資料を主たる事務所に10年間保存してください。

### (2) 公正な事業実施について

当団体は、資金分配団体としての助成の申請を行うに際し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構が行う助成対象事業に関して、次のとおり確認します。

## 様式1

1. 資金分配団体に選定された後の当団体の役員の構成が、以下の要件に該当し、助成対象事業の公正な実施に支障を及ぼすおそれがないこと。
  - (1) 各理事について、当該理事及びその配偶者又は3親等内の親族等である理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えないこと（監事についても同様）。
  - (2) 他の同一の団体の理事である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えないこと（監事についても同様）。
2. 当団体は、資金分配団体に選定された後において、社会的信用を維持する上でふさわしくない業務、又は公の秩序若しくは善良の風俗を害するおそれのある業務は行わないこと。
3. 当団体が行政機関から受けた指導、命令等に対する措置の状況は、助成申請書に記載のとおりである。

### ※注意点

資金分配団体に選定された後に、上記確認事項に反する事実が判明した場合には、虚偽の申請があったものとみなされる可能性がありますのでご注意ください。また、上記事項を団体において確認した際の根拠資料（例えば、理事等からの提出を受けた誓約書等）がある場合は、当該資料を主たる事務所に10年間保存してください。

### (3) 情報公開について（情報公開同意書）

当団体は、一般財団法人日本民間公益活動連携機構が行う助成対象事業に関する資金分配団体としての助成の申請を行うに際し、その選定結果の如何を問わず、本事業が「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（平成28年法律第101号）に基づき、この活動資金が国民の資産であることから、「情報公開の徹底」及び「本制度全体の透明性の確保」等が求められていることを、添付資料「選定結果・申請時提出書類の情報公開について」も一読の上理解し、次のとおり同機構のウェブサイトで公開されることを同意いたします。

なお、申請書類の提出にあたっては同機構の個人情報保護に関する基本方針に同意します。

#### 1 選定結果の公表

選定結果の公表時に、「事業名（主題・副題）」、「団体名」、「所在地」、「申請した事業の名称及び概要」、「代表者名」、「新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題」、「事業期間」、「決定助成額または申請助成額」、「審査コメント」及び「助成額の根拠（資金計画書、事業計画書）<sup>※1</sup>」

#### 2 申請時提出書類の公開

申請時提出書類（参考資料は除く）の公開時に、申請書類（助成申請書、団体情報、事業計画書、資金計画書等、規程類確認書、申請書類チェックリスト、役員名簿、前年度の貸借対照表、前年度の損益計算書、定款）。

上記に加え、コンソーシアムで申請の場合には、幹事団体によって提出された申請書類（コンソーシアムの実施体制表、コンソーシアムに関する誓約書、幹事団体以外の各コンソーシアム構成団体についての団体情報、規程類確認書、役員名簿）。

※1 選定団体のみ



情報公開同意書添付資料 「情報公開同意書」 同意前に必ずお読みください

## 選定結果・申請時提出書類の情報公開について

### 1. 本資料の位置づけ

本資料は、『「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく資金分配団体の公募』における選定結果・申請時提出書類の情報公開について、公募要領を補足する資料です。「情報公開同意書」に同意いただく前に、必ずお読みください。

### 2. 情報公開の考え方

JANPIAでは、公募要領で明示しているとおり、採択・不採択に関わらずすべての選定申請団体の選定結果及び申請時提出書類（参考資料は除く）の情報公開を当機構ウェブサイトで行います。これはこの活動の原資が国民の資産であることに鑑み、「国民への説明責任」を果たすため、「情報開示の徹底」「本制度全体の透明性の確保」等が求められていることに応じるものです。公募の申請に際しては、この考え方への同意を確認するため、「情報公開同意書」をご提出いただきます。

なお、情報公開にあたっては、書類の中にある個人情報や選定申請団体のアイデアやノウハウに係る部分について非公表とすること等により、選定申請団体の権利その他の正当な利益を損ねないように留意することとなっています。そのため選定結果通知後、すべての選定申請団体宛に情報公開予定の書類データについて申請の際に登録いただいたメールに送信し、公開内容を確認していただいた上、申請時提出書類を公開する予定です。

### 3. 公開する情報について

#### (1) 選定結果の公表

選定結果の公表に際しては、申請された情報に基づき、以下「選定結果の公表」での公表予定項目を当機構ウェブサイトに公表する予定です。

「選定結果の公表」での公表予定項目

- 1 事業名 主題
- 2 事業名 副題
- 3 団体名 [事業対象地域]
- 4 代表者名
- 5 所在地
- 6 新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰により深刻化した社会課題
- 7 事業の概要（300字以内）
- 8 事業期間
- 9 決定助成額または申請助成額
- 10 審査コメント
- 11 助成額の根拠（「資金計画書」「事業計画書」） ※選定団体のみ

#### (2) 申請時提出書類（参考資料を除く）の公開

選定結果公表後、以下「「申請時提出書類の公開」で公開予定の資料」を当機構ウェブサイトで開催する予定です。この公開にあたっては、事前にすべての選定申請団体に情報公開予定の申請時提出書類について登録いただいたメールに送信し、内容をご確認いただきます。

申請時提出書類については、皆さまにご確認いただく段階で「印影」と「個人情報」と判断される情報について、JANPIA事務局で非公開の加工を行う予定です。それに加えて正当な利益が損なわれると判断されるような非公開とすべき情報<sup>※1</sup>がないか、ご確認をお願いします。また事務局で行った非公開加工が不要の場合は、合わせてご指摘下さい。

非公開の箇所についてご確認いただくプロセスを経て、団体の皆さまにご了解が得られた書類を当機構ウェブサイトで公開します。

## 様式1

「申請時提出書類の公開」で公開予定の資料

- 1 様式1 助成申請書
- 2 様式2 団体情報
- 3 様式3 事業計画書
- 4 様式4 資金計画書等
- 5 様式5 規程類確認書
- 6 様式6 役員名簿
- 7 様式7 申請書類チェックリスト
- 8 前年度の貸借対照表
- 9 前年度の損益計算書
- 10 定款

以上に加え、コンソーシアムで申請の場合

- 11 コンソーシアムの実施体制表
- 12 コンソーシアムに関する誓約書
- 13 幹事団体以外の各コンソーシアム構成団体についての「団体情報、規程類確認書、役員名簿」

※1 統計データなど、すでに一般公開されている情報は非公開とする情報の対象になりません。

以上

## 新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠 団体情報

### 基本情報

フリガナ	コウエキシャダンホウジンニホンサードセクターケイエイシャキョウカイ		
団体名 ※法人格を含めた正式名称	公益社団法人日本サードセクター経営者協会		
設立年月日（西暦）	2019年9月1日	法人格取得年月日 ※法人格を有する団体	2019年12月28日
事務所住所	郵便番号	都道府県	市区町村以下の住所 ※上段にフリガナ（番地を除く）ご記入ください
	143-0016	東京都	オオタクオオモリキタニチョウメサンバンジュウゴゴウ 大田区大森北二丁目3番15号
TEL(代表)	03-3768-6000	Email(代表)	<a href="mailto:office@jacevo.jp">office@jacevo.jp</a>
WEBサイトURL	<a href="http://www.jacevo.jp">http://www.jacevo.jp</a>		

### 代表者情報

※2名以上の場合は、全員分ご記入ください

フリガナ	タジマ セイイチ	役職	代表理事
氏名	田島 誠一		
フリガナ	ウシロ フサオ	役職	代表理事
氏名	後 房雄		
フリガナ		役職	
氏名			

### 事業担当者情報

※代表者と異なる場合はご記入ください

フリガナ		所属部署／役職	
氏名			
TEL ※平日日中に連絡可能な番号		Email	

### 組織構成

職員・従業員数 ※自動計算	6 名	監事設置	設置
常勤職員数 ※有給・無給問わず	1 名	非常勤職員数 ※有給・無給問わず	5 名

### 資金管理体制

※決済責任者と通帳管理者は別の方がご担当ください

フリガナ		決済責任者 勤務形態	■
決済責任者 氏名			
フリガナ		経理担当者 勤務形態	■
経理担当者 氏名			
フリガナ		通帳管理者 勤務形態	■
通帳管理者 氏名			

### その他

会計監査実施の有無	有り
区分経理実施体制の有無	有り
助成金分配実績の有無	有り

## 新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠 規程類確認書

申請団体名	公益社団法人日本サードセクター経営者協会
申請事業名	ウィズ/アフターコロナの新しい活動様式

「記入例」に倣って該当箇所を記載してください。

貴団体は規程類をお持ちですか？	はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
「はい」の場合、規程類をHPで公開していますか？	はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
HPで公開している場合は規程類掲載ページのURLおよび規程類の名称を記載してください。 <small>※URLが複数ある場合は、備考欄に記載してください</small>	URL: <a href="https://jacevo.jp/about/soshiki">https://jacevo.jp/about/soshiki</a>
No.	備考
1	経理規定
2	就業規定
3	出張規定
4	有期契約職員就業規則
5	給与規定
6	謝金規定
7	役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規則
8	役員の報酬等及び費用に関する規程
9	会費規定
10	寄附金等取扱規程
11	個人情報保護に関する基本方針、個人情報管理規程
12	リスク管理規程
13	監事監査規程
14	事務局規程
15	コンプライアンス規程
16	文書管理規程
17	理事会運営規程
18	情報公開規程
19	内部通報（ヘルプライン）規程
20	倫理規程
21	役員の利益相反防止のための自己申告等に関する規程
22	等級票 令和3年度





様式7

新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠  
申請書類チェックリスト

申請書類を提出する前に必ず本チェックリストを使って提出書類が揃っているか確認してください。

団体名		公益社団法人日本サードセクター経営者協会	
事業名の主題(入力)		ウィズ/アフターコロナの新しい活動様式	
様式	提出する書類	チェック	備考
様式1	助成申請書	完了	
様式2	団体情報	完了	
様式3	事業計画書	完了	
様式4	資金計画書	完了	
様式5	規程類確認書	完了	・過去資金分配団体に採択された団体で、最新の書類を提出済みの団体は提出不要です。
様式6	役員名簿	完了	・様式厳守となります。エクセルファイルにはパスワードをかけ、パスワードはJANPIA WEBサイトから指定のフォームでJANPIAに送ってください。(詳細は、JANPIA WEBサイト申請ページをご確認ください。)・過去資金分配団体に採択された団体で、最新の書類を提出済みの団体は提出不要です。
様式7	申請書類チェックリスト※本紙	完了	
-	定款	提出不要	・過去資金分配団体に採択された団体で、最新の書類を提出済みの団体は提出不要です。
-	前年度の貸借対照表	完了	
-	前年度の損益計算書(活動計算書、正味財産増減計算書、収支計算書等)	完了	
コンソーシアムで申請の場合			
-	コンソーシアムの実施体制表		
-	コンソーシアムに関する誓約書		
様式2	団体情報		・各コンソーシアム構成団体分をzipファイルにまとめてご提出ください ・「規程類確認書」「役員名簿」は、過去資金分配団体に採択された団体で、最新の書類を提出済みの団体は提出不要です。
様式5	規程類確認書		
様式6	役員名簿		

2022年7月29日

2020年度新型コロナウイルス対応緊急助成実施状況報告書

公益社団法人日本サードセクター経営者協会

1. 事業名

NPO等が新しい活動様式を生み出す事業

2. 事業期間

2020年8月～2022年1月

3. 実行団体と助成額

実行団体名	団体所在地	事業名	助成額
特定非営利活動法人栃木アニマルセラピー協会	栃木県鹿沼市	ライブ動画で犬とのふれあいを届けたい -ライブコマースを使つてのアニマルセラピー疑似体験動画-	465,100
特定非営利活動法人くまもとスローワーク・スクール	熊本県玉名郡	放課後等デイサービス利用控え家庭への支援 -ソーシャルワーク、親子療育、茶話会支援-	480,000
特定非営利活動法人まちづくり推進隊財田	香川県三豊市	オンラインによる移住体験実施事業 -感染症が地方移住の流れを断たないために-	500,000
一般社団法人アルバ・エデュ	東京都文京区	オンラインおうち学校 -ICTを用いて教育格差を是正する-	500,000
有限会社ミュージズプランニング	熊本県熊本市	ひとり親家庭スマイルプロジェクト！ -親と子の自立と安心をつなごう-	3,000,000
一般社団法人EFC 防災・介護・トイレのバリアフリー	東京都羽村市	ニューノーマルにおける障害者の災害対策 -オンラインツールを用いた在宅避難支援-	3,500,000
一般財団法人たんぼぼの家	奈良県奈良市	Good Job! Project -障害福祉事業所の既存事業と新規事業の成長支援-	3,000,000
特定非営利活動法人胃癌を撲滅する会	東京都練馬区	途上国での遠隔医療教育支援	1,054,900
特定非営利活動法人福祉サポートセンターさわやか愛知	愛知県大府市	地域におけるオンライン研修の活用推進 -スマート機器を活用したい市民の応援-	3,000,000
株式会社リリムジカ	東京都新宿区	高齢者対象のオンライン音楽プログラム普及 -「マイソング」で生活の活力を得る-	3,000,000
特定非営利活動法人 AcceptInternational	東京都中央区	「with コロナ時代」の更生支援 -オンライン面会と保護司制度の改革-	5,000,000
特定非営利活動法人ノッポの会	愛知県名古屋	ICTを活用した新たなサロン事業 -with コロナ時代の仲間づくり支援活動-	2,000,000

#### 4. 事業の概要

新型コロナウイルスの影響により社会課題自体がより深刻化していますが、同時にこれらを解決するためのNPO等の活動もまた、対面や濃厚接触が必要であるために活動が困難になっていました。感染拡大を抑止しながら成果をあげられるような「新たな活動様式」を生み出すという活動を支援しました。

対面や濃厚接触によって成果をだしてきた分野において、感染予防に気をつけつつこれまでの活動を続けるだけでは限界があり、デジタルの活用だけでは十分な成果をあげる事が困難です。

「コロナ禍における新しい活動様式」という当法人の問題提起に応え新しい取り組みに取り組む 12 の実行団体を採択しました。実行団体の法人形態は特定非営利活動法人、一般社団法人、一般財団法人、数式会社、有限会社と多彩でした。

福祉分野では、対面でしっかり利用者と触れ合うことのこだわりがあり、それがデジタル化への反対の根拠にもなっていました。コロナ禍において、余儀なくデジタル化の活用に拭き切らざるをえなかったということに留まらず、新しい形での展開をもたらしたり、新しい顧客へと視野を広げたり、現場の課題を見える化し、分析し、新しい事業へと、本助成金にて踏み出すことができました。

#### 5. 実施事業について（非資金的支援）

感染症やITに関する専門家とPOが連携協力し、実行団体の現場力を引き出しつつ、新しい活動様式を生み出す支援を行いました。

##### ① セミナー・勉強会開催

各セミナー終了後、参加団体の質問に丁寧に答え、互いに課題や対応策を共有しました。

##### ・感染対策勉強会

2020年10月26日(月)17時から19時 ■■■■■氏

2020年11月6日(金)15時から17時 ■■■■■氏

2021年1月27日(水)19時から20時 ■■■■■氏

2021年2月10日(水)18時半から20時半 ■■■■■氏

2021年2月24日(水)18時半から20時半 ■■■■■氏

##### ・新しい活動様式とITの活用

2021年2月10日(水)18時半から20時半 ■■■■■氏

2021年2月24日(水)18時半から20時半 ■■■■■氏

2021年2月17日(水)14時から16時 ■■■■■氏

2021年3月6日(土)18時から20時 ■■■■■氏

2021年12月15日(水)10時から12時 ■■■■■氏

##### ・ガバナンスとコンプライアンスを学ぶ

2021年5月19日(水)13時から15時 ■■■■■氏

2021年5月25日(火)18時から20時 ■■■■■氏

- ・事前評価とツリー型ロジックモデルシート

2021年7月3日(土)10時から12時 ■■■■■氏

2021年7月17日(日)7月25日(日)9時半から12時半 ■■■■■氏

- ・広報戦略

2021年7月28日(水)14時から16時 ■■■■■氏

② 感染対策専門家とP0が連携し、実行団体に対し伴走支援を行いました。

刻々変化する情報をタイムリーに集合研修にて基本を学び、個別伴走支援でケースバイケースの助言を行い、実行団体、専門家、P0が新しい活動様式について意見交換しました。

たとえば、特定非営利活動法人ノッポの会では、サロンの現場にて、換気の状態などを確認し、通用口側を定期的に解放することにしました。有限会社ミュージックプランニングでは、屋外の場合でも参加者がよく手を触れる、入り口やトイレのドア等のこまめな消毒を行うこととしました。特定非営利活動法人栃木アニマルセラピーでは、動物を感染から守ることと、犬や寝転がったりする床の環境消毒の徹底などが重要であることをお話ししました。また、特定非営利活動法人さわやか愛知は、在宅支援者の確保が重要であり、濃厚接触者の濃厚接触者に対する不安から、活動に影響がでていましたが、濃厚接触者の濃厚接触者は濃厚接触者ではないという前提のもとに対策をたてることができました。

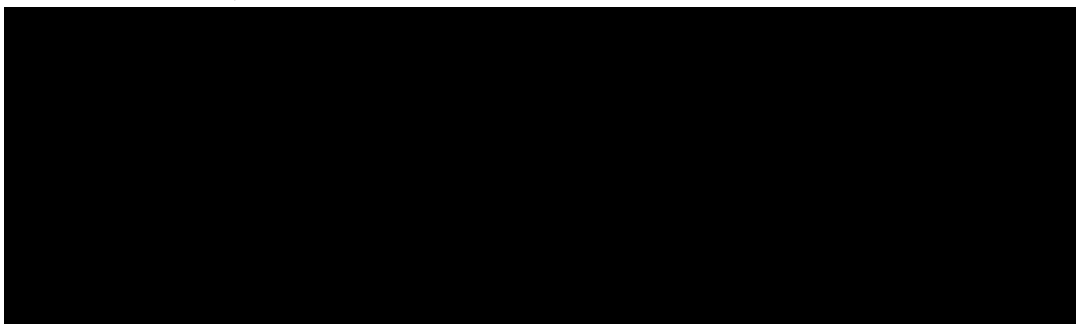
専門家からの助言と、実行団体のこれまでの経験や専門性を引き出すことで、停滞していた活動に対し、前をむいて、新しい活動様式を考え、提案事業を展開していくことにつながりました。

コロナ禍において感染対策専門家のかたは、多忙な状況においても、常に新しい情報を収集し、実行団体の活動一つ一つに丁寧にご対応頂き、専門家の直接的な助言にて、実行団体は事業を進めることができたと思います。

③ 成果報告会

12団体の「新しい活動様式」への挑戦の経験を共有し、審査委員、感染対策専門家から、今後に向けての助言を頂きました。また、広くサードセクター組織に共有いたしました。

<感染対策専門家プロフィール>





## 6. 事業が生み出した「価値」

12の実行団体が「新しい活動様式」に挑戦し、その経験は、多くの団体に必要とされるはずであり、with/after コロナに向けて、単なるデジタル化ではない「新しい活動様式」のヒントと挑戦への勇気になりました。

具体例をひとつ紹介します。

(各実行団体の取り組みは成果報告書をご覧ください。)

[https://jacevo.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/jacevo\\_kyumin.pdf](https://jacevo.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/jacevo_kyumin.pdf)

リリムジカは、高齢者の介護施設などで高齢者の方が主体的に好きな歌や思い出のある歌を歌う場づくりをしてきました。コンテンツのオンライン化は求められていましたが対面にこだわった活動をしてきました。コロナ禍において対面の活動ができなくなりました。そして、介護の現場では、職員はストレスフルな状態になり、閉塞感の中でケアの質は低下していきました。

まずはオンラインで配信をしましたが一対大勢ではライブであることが理解されませんでした。なにより課題は、単なるコンテンツ提供と同じになります。そこで、

高齢者と家族とをミュージックコーディネーターがオンラインで「つなぐ」「マイソングプロジェクト」をスタートさせました。オンラインは対面のプログラムの代わりではなく、家族や在宅支援者に、はいつていただくという工夫です。

実施にあたり、在宅の高齢者が IT を使えないということと、そもそも利用者へのアプローチができないという課題がありました。同じく実行団体の福祉サポートさわやか愛知は在宅支援にこだわってサービスを提供してきたサードセクター組織です。そこでの課題は支援者も高齢であり IT が活用できないということでした。本助成金において職員が IT を活用できるようなプロジェクトを実践していました。そこで、さわやか愛知の利用者宅にて、さわやかなスタッフが在宅の高齢者をサポートし、家族にもはいつていただき、新たなプロジェクトを推進するという取り組みを行いました。

このように、今回の採択団体と同じ分野の活動をしているサードセクター組織に限らず多くの団体にとって、これまでの事業の保身ではなく、複雑化、深化、多様化する社会課題解決のために「新しい活動様式」に挑戦した経験はサードセクター組織にとって有意義な刺激となりました。また、サードセクター組織は事業ありきでなく、刻々と変化する地域課題を早期に捉え、事業の改善や新規事業を考えるという利益重視の営利企業とは異なる経営センスが必要であり、ビジョン達成のためのアクティブな経営力の理解が深まりました。

さらには、民間組織として組織の中での議論を重ね、実効性のない規定類を作成するだけでなく、身の丈のガバナンスコンプライアンス体制を構築し、適正で機敏な意思決定ができる社会から信頼される組織へと成長の意欲をみせました。休眠預金は評価を重視しています。そもそもの事後評価ありきでなく、まずは事前評価が重要であり、うまく行かなかった場合の改善に活用していくということを実践の中で学び評価の必要性の理解を深めました。

コロナ禍だから、やむなくデジタル化するのでなく、新しい事業への踏み切りを促すことになりました。

プログラムオフィサー XXXXXXXXXX

以上